

2019年度 第2回安全教育研修

原子力事業所安全協力協定第3条第1項第2号に基づく安全教育に係る協力活動は、「2019年度原子力事業所安全協力協定年間活動基本計画」に基づき、2019年度第2回安全教育研修を以下のとおり実施した。

〔開催日〕 令和2年1月31日（金）

〔開催場所〕 日本原子力発電株式会社 東海事業本部 東海総合研修センター

〔受講者〕 協定加盟4事業所から12名受講

初めに、東海第二発電所の近況として新規制基準適合性に係る「原子炉設置変更許可」等の審査の概要と安全対策の対応状況等について、講話が行われた。

その後、2班に分かれ「身の周りの放射線測定体験」と「シミュレータによる運転体験」の実習が行われた。最後に、「東海第二発電所フルスコープシミュレータ見学」では、3.11の福島第一原子力発電所の中央制御室の状況が再現された。制御盤に表示された原子炉内の変化や制御盤上部に設置された警報盤の警報窓が、警報音とともに一斉に点滅する様子を、そして電源喪失により室内照明や警報窓の表示が消灯し、暗くなった制御室内（訓練用のため安全面を考慮した照度は確保）の状況を体験することができた。

研修後に実施したアンケートでは、東海第二発電所の近況については「新規制基準適合性に係る審査について流れを知ることができ良かった。」、放射線測定実習では「測定器を使うことが、ほとんどないため、測定器の使い方や、実際色々なものを測定できて良かった。」等の意見もあった。また、シミュレータ運転体験や見学については、「原子炉における色々な機能やシミュレータの概要について知ることができて良かった。」、「専門的で難しい話であったが、福島第一の事故時の制御室の状況が体験でき、とても良かった。」等の意見があった。

〔研修概要〕

【講 話】 東海第二発電所の近況について

【実 習】 ① 身の周りの放射線測定体験、② シミュレータによる運転体験

【見 学】 東海第二発電所フルスコープシミュレータ

【研修風景】



近江総合研修センター所長ご挨拶



講話「東海第二発電所の近況について」



実習①「身の周りの放射線測定体験」



実習②「シミュレータによる運転体験」



以上